



第6回 空港アクセス検討委員会資料

令和5年3月20日（月）

熊本県企画振興部交通政策・統計局
交通政策課

空港アクセス鉄道のルート方針決定について

ルート決定に至る経緯（1）

<令和4年9月定例会>（知事答弁等抜粋）

〔調査概要〕

- ・概算事業費は肥後大津ルートが410億円と最も低額な試算となり、B／Cについても肥後大津ルートが最も事業効果が高いとの試算。

〔定量的に試算できない様々な効果〕

- ・直通運行により乗り換えが不要であり、JR九州による豊肥本線等との一体的・効率的な運行管理や将来の機能強化といった効果が期待。
- ・人口増加が続いている沿線地域全体を一つの路線でカバーできるとともに、企業進出が続く産業面での発展も広く取り込むことができる。
- ・南阿蘇鉄道の肥後大津駅への乗り入れが実現することにより、観光客の増加が期待。



知事が「肥後大津ルートに将来の発展性を感じる」と答弁

ルートの追加検討に係る中間的な調査概要

項目		三里木ルート	原水ルート	肥後大津ルート
概算事業費（税込）※1 [整備延長]		約490億円 [約8.8km]	約530億円 [約9.1km]	約410億円 [約6.8km]
工事期間※1	用地買収期間含む	8年（+ 準備期間(環境影響評価等) 4年） ＜開業時期は、2034年度末(R16年度末)を想定＞		
豊肥本線との接続		乗換	乗換	直通※2
所要時間 (距離)	熊本駅-空港駅	約41分	約43分	約44分 (快速 約39分※3)
		(約24.6km)	(約28.0km)	(約29.4km)
需要予測	予測年次2035年	約5,800人/日 (うち中間駅：約400人/日)	約4,700人/日	約4,900人/日(～約5,500人/日※3)
費用便益分析 (B/C)	30年	1.01	0.72	1.03 (～1.21※3)
	50年	1.18	0.82	1.21 (～1.42※3)
収支採算性 (累積資金収支黒字 転換年)	[想定事業スキーム] 国補助1/3、県補助1/3	34年	40年以内に 黒字転換しない	36年 (～30年※3)
	[現行補助制度] 国補助18%、県補助18%	40年以内に黒字転換しない		

三里木ルート、肥後大津ルートは、事業の予算化に資する評価指標（B/C）が1.0以上であるとともに、補助率が総事業費の国補助1/3、県補助1/3の場合、鉄道事業許可の採択基準（40年以内の累積資金収支黒字転換）を満たしている。

※1：今後の関係機関との協議及び調査検討の深度化、物価上昇等により、事業費や工事期間が変動する可能性がある。概算事業費の価格年次は2021年4月価格。

※2：詳細はJR九州と要調整。

※3：熊本駅～空港駅間において、JR豊肥本線の運行ダイヤが過密な午前7時～午前9時の時間帯以外で、快速運行を追加する場合の可能性について、県が設定する前提条件（+14本/日(+1本/h)(片方向)）をもとに試算。

空港アクセス鉄道のルート方針決定について

ルート決定に至る経緯（２）

①令和４年１０月 ７日（金）

・経済５団体（熊本経済同友会、熊本商工会議所、熊本県中小企業団体中央会、熊本県経営者協会、熊本県商工会連合会）から県に対し、空港アクセス鉄道の早期実現に関する要望

②令和４年１０月１８日（火）

・県議会議長・地元経済界・県選出国會議員によるオール熊本で、国土交通大臣に対し整備費の１／３の財政支援等の特別な配慮を要望。

③令和４年１１月 ９日（水）

・第５回空港アクセス検討委員会を開催し、「追加調査に係る中間的な調査概要」等について説明。

・委員会の意見として「肥後大津ルートが妥当」との結論。

空港アクセス鉄道のルート方針決定について

ルート決定に至る経緯（3）

- 令和4年11月29日、肥後大津ルートに関する確認書をJR九州との間で取り交わし。「空港アクセス鉄道と豊肥本線全体の利便性の最大化及び運営の効率化という目標を共有」の上、直通運転を基本として検討する等、空港アクセス鉄道の早期実現に向けて取り組むことを確認。
- 今後、鉄道事業許可に向けて、引き続き、運営方法や費用負担等の詳細についての協議を行う。

肥後大津ルートに関する確認書

1 空港アクセス鉄道と豊肥本線の接続は直通運転を基本として検討する。検討にあたっては、豊肥本線利用者の利便性維持を前提とする。

2 運営の方法については、確認書（三里木ルート）に基づく運行受委託方式に加え、上下分離方式により下部分については県が設立する第三セクター（以下「3セク」という。）が運営し、上部分についてはJR九州が豊肥本線と一体的に運行を担う方式を検討する。

3 整備費の負担については、整備費の1/3を上限にJR九州が拠出するとして確認書（三里木ルート）と上記2で決定する運営の方法を踏まえ協議する。

4 上下分離方式の場合、JR九州が3セクに支払う施設使用料の水準については別途協議する。なお、仮に上部分の運行で赤字が生じた場合の対応についても別途協議する。

5 ルート決定後の詳細調査による事業費や需要予測及び収支採算性の変動に対しても、双方誠意を持って協議する。



空港アクセス鉄道のルート方針決定について

ルート決定に至る経緯（４）

<令和４年１２月定例会>（知事答弁等抜粋）

〔空港アクセス検討委員会の見解〕

- ・「肥後大津ルートが妥当である」と、委員会としての最終判断。

〔ＪＲ九州との確認書の取り交わし〕

- ・空港アクセス鉄道と豊肥本線全体の利便性の最大化及び運営の効率化という目標を共有し、早期実現に向け協働して取り組んでいくことを確認。

〔豊肥本線沿線地域での民間投資〕

- ・ＴＳＭＣの進出に伴う関連企業の進出による民間投資の動きが活発化。
- ・原水駅周辺では新たな街づくりの計画が、肥後大津駅周辺地域では多くのマンション等の建設計画が進んでいる。
- ・沿線地域全体を幅広くカバーできる空港アクセス鉄道が実現すれば、更なる発展は現実的になる。



知事が「空港アクセス鉄道は『肥後大津ルート』とする」ことを表明

ルート方針決定を受けての県議会での議論について

令和4年12月定例会 松田議員一般質問の概要

【松田議員質問から抜粋】

- ・知事の英断を高く評価し、全面的に支援する。
- ・空港アクセス検討委員会の意見、J R九州との確認書の取り交わしを踏まえ、肥後大津ルートの将来の発展性への期待は確信へと変わり、今回の決断に至った、との御説明ではなかったかと思う。
- ・私も、知事の決断に至った経緯や先述の中間的な調査概要などを踏まえると、肥後大津ルートが最適であると、まさに確信している。早期実現に向けた決意をお聞かせ願いたい。

【知事答弁から抜粋】

- ・空港アクセス鉄道の整備は、私が知事に就任した直後から提唱している「大空港構想」をけん引する事業として、また、熊本地震からの創造的復興の総仕上げとなるプロジェクトであると考えています。熊本の輝ける未来の礎として、早期実現に向けて全力で取り組んで参ります。

ルート方針決定を受けての県議会での議論について

令和4年12月定例会における決議

熊本県議会における空港アクセス鉄道整備の 早期実現に関する決議（抜粋）

知事が令和4年12月定例会冒頭に「肥後大津ルート」とすることを決断されたことを踏まえ、空港アクセス鉄道の早期実現に向け、熊本県議会としては、下記の事項を強く求めるものである。

- 1 国家プロジェクトであるTSMCの進出を踏まえ、空港周辺地域及び県全体の交通ネットワークを強化するため空港アクセス鉄道を早急に整備すること。
- 2 国に対しさらなる財政支援を求めるとともに、強い覚悟を持って事業に取り組むこと。
- 3 確認書に基づくJR九州との協議を急ぎ、応分の整備費及び運営費の負担を求めること。

空港アクセス鉄道整備の早期実現に関する決議

菊陽町、大津町や近隣の合志市といった空港周辺地域は、昨年11月、世界的な半導体企業であるTSMCの新工場建設決定以降、半導体関連企業の進出が次々と決定するなど、本県における半導体産業の集積拠点としてのみならず、国の経済安全保障において重要な地域となっている。

県外・国外を含む関連企業や取引企業との空港を利用する人の往来、資材や製品等の物流の増大、多様な人材やその家族を含む新たな居住者の増加など、人や物の流れが大きく変化し、これまで以上に活性化することが見込まれる。

また、空港アクセス鉄道と結ばれるJR豊肥本線沿線においては、現状においても、さらには、今後も人口増加が見込まれるという点も重要である。

空港アクセス鉄道は、こうした状況の変化を的確に踏まえ、空港の利便性を向上するのみならず、空港周辺地域の可能性を最大化し、ひいては熊本県全体の発展に資するために必要なインフラと考える。

さらに、空港が豊肥本線そして鹿児島本線、九州新幹線とつながることで、九州の中心に位置する阿蘇くまもと空港のポテンシャルが最大限に引き出され、県内のみならず九州全域の交通ネットワークの強化にもつながるものである。

空港アクセス鉄道は、本県の長年の課題である空港アクセスの改善にとどまらず、鉄道を通じた空港や地域の活性化の効果を様々な分野に、そして県内全域に広げていくものであり、熊本地震からの「創造的復興の総仕上げ」として、50年後、100年後を見据えた将来の熊本の発展に貢献するものである。

空港アクセス検討委員会の結論、JR九州との確認書の取り交わしを経て、知事が令和4年12月定例会冒頭に「肥後大津ルート」とすることを決断されたことを踏まえ、空港アクセス鉄道の早期実現に向け、熊本県議会としては、下記の事項を強く求めるものである。

記

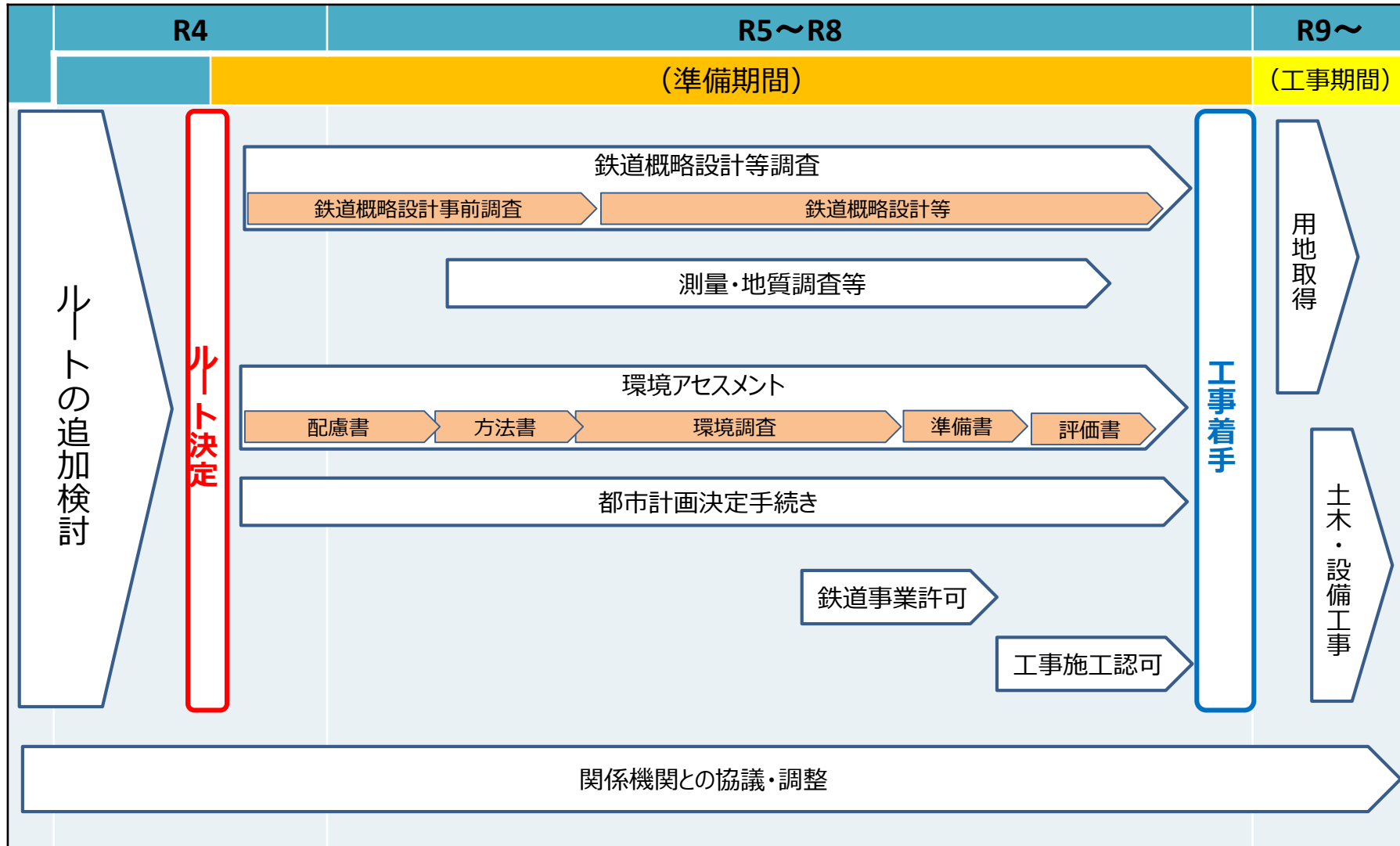
- 1 国家プロジェクトであるTSMCの進出を踏まえ、空港周辺地域及び県全体の交通ネットワークを強化するため空港アクセス鉄道を早急に整備すること。
- 2 国に対しさらなる財政支援を求めるとともに、強い覚悟を持って事業に取り組むこと。
- 3 確認書に基づくJR九州との協議を急ぎ、応分の整備費及び運営費の負担を求めること。

以上、決議する。

令和4年12月22日

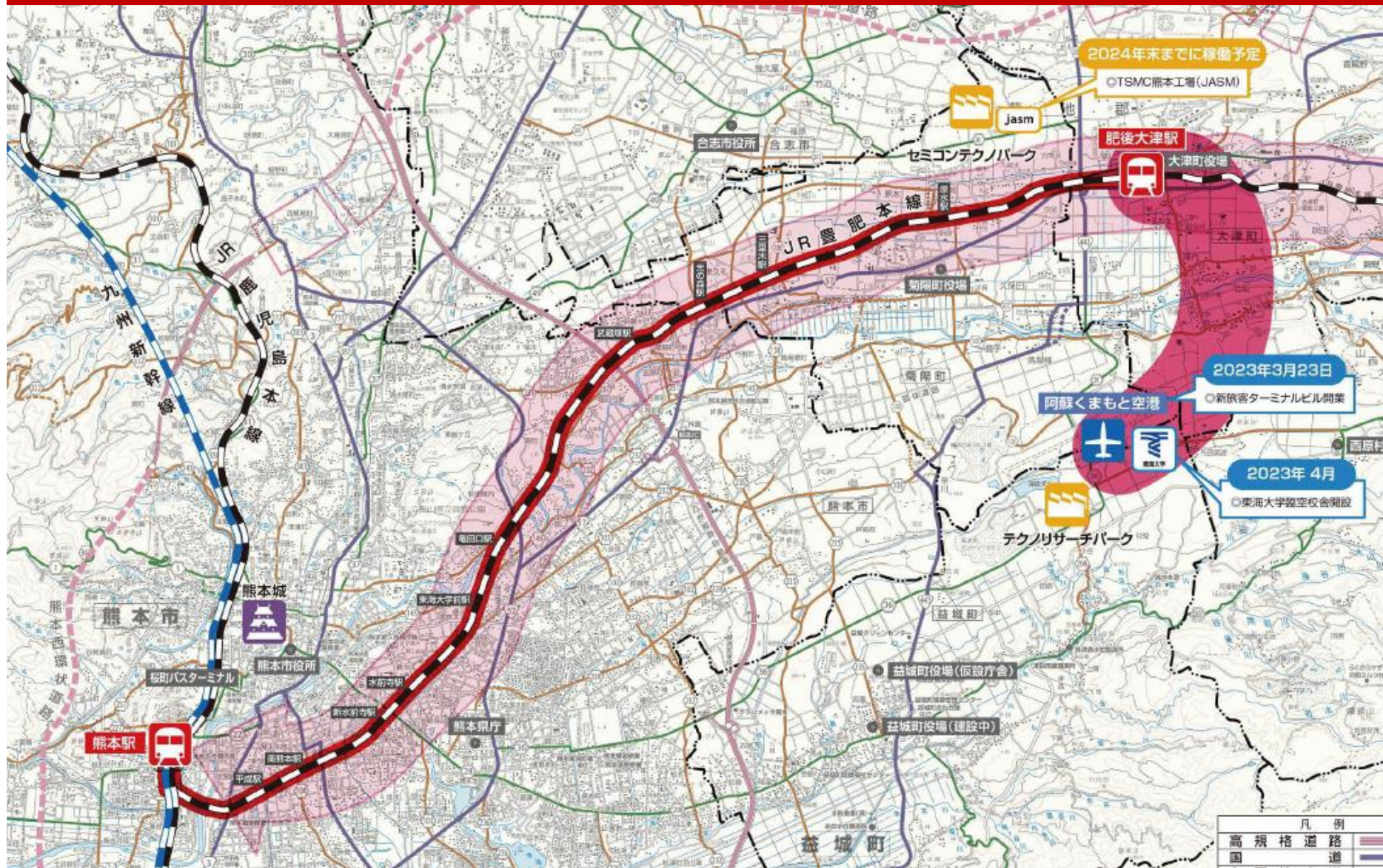
熊本県議会

今後のスケジュール



(参考資料 1)

空港アクセス鉄道 ルート概要図



(参考資料 2)

県民総合運動公園の渋滞対策に向けた実証

【将来に向けた地方創生の取組み】

新

予算額3億4千万円(3億4千万円)
 県民総合運動公園アクセス改善対策実証事業
 [交通政策課、都市計画課]

- 県民総合運動公園は、公共交通によるアクセス手段が乏しく、大規模イベント開催時には運動公園周辺では渋滞が頻発
- 取り得る対応策から速やかに実行し、効果検証をしながら県が主体的に渋滞対策に取り組む

<現状・課題>

【現状】

- 県民総合運動公園は、公共交通によるアクセスが乏しく、自動車によるアクセスが中心
- 今秋のロアツソ熊本ホームゲームなど、大規模イベントにおいて運動公園周辺で渋滞が頻発

【課題】

- 空港アクセス鉄道ルート見直しにより三里木ルートで期待されていた運動公園アクセス改善への対応が必要
- 財政的に厳しいイベント主催者もある中、イベント主催者による自主的な渋滞対策のみでは限界


<事業概要>

- 全体事業費：3億4千万円
- 事業内容：①利用者数に応じて主催者等調整会議で必要とされた以下のソフト対策について実証
 - ・メイン駐車場臨時退出路・臨時駐車場の設置、指定管理者による交通誘導警備員等の配置
 - ・イベント主催者が行うシャトルバス運行、パーク&バスライドの実施、自転車利用者等へのインセンティブ等への支援
- ②臨時駐車場の確保等のための施設整備
 - ・送迎車両乗降所設置等の検討、バスベイの改修
 - ・メイン駐車場臨時退出路及び臨時駐車場の設置に伴う退出路等の整備
- ③駐車場増設に係る調査・検討
 - ・駐車場増設に係る可能性調査等
- 負担割合：県10/10
- 事業主体：県
- 事業期間：令和5年度

<イメージ>

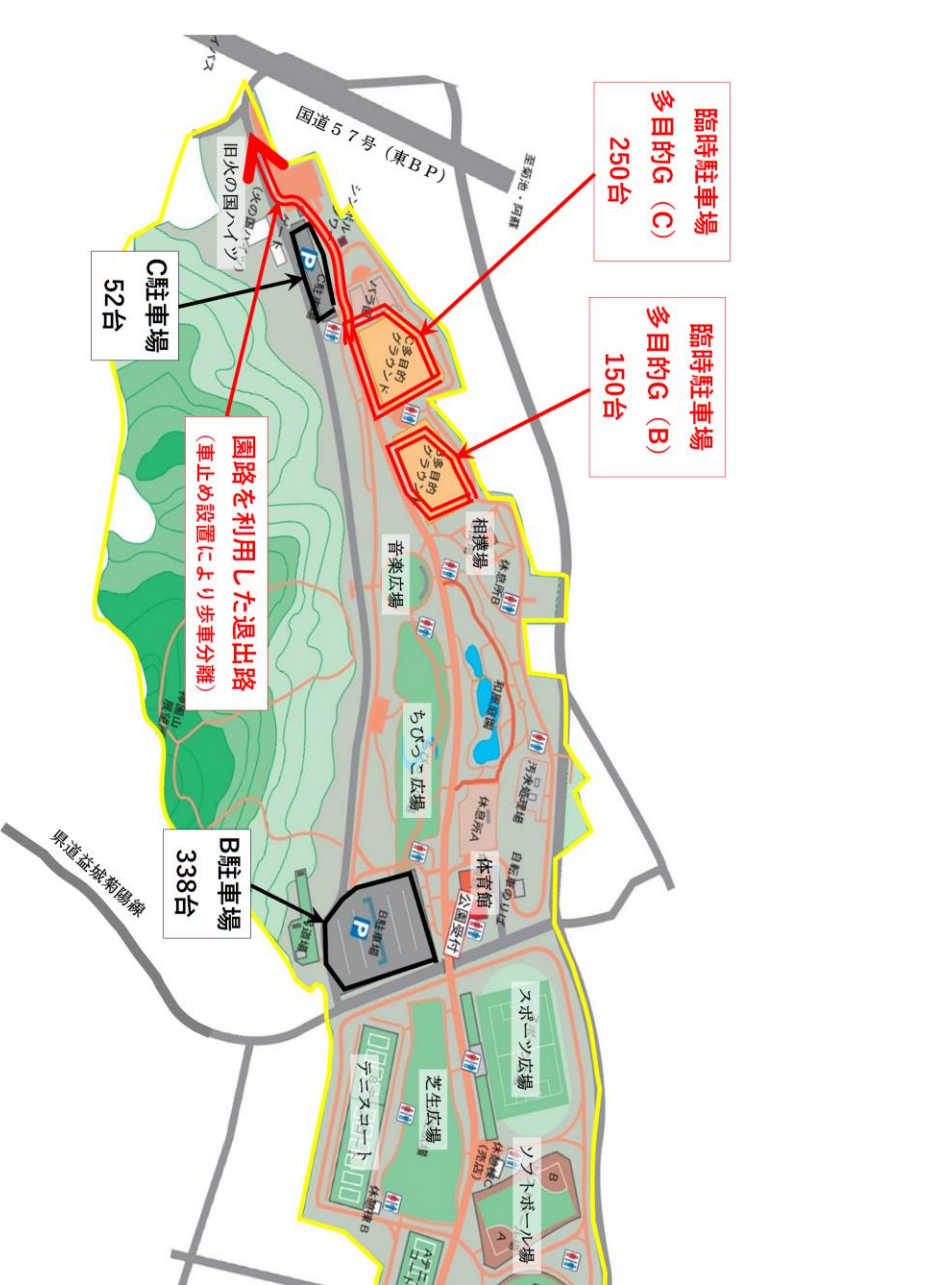
◎ハード面での対応策 ○送迎車両乗降所の設置検討 ○バスベイ等の改修 等

◎利用者数に応じたソフト対策について実証

運動公園利用者	駐車場対策		シャトルバス・パーク&ライド 【大規模イベント時】	徒歩・自転車等 【大規模イベント時】
4,000人※以上	臨時駐車場の設置		シャトルバス運行	イベント主催者に対するバス借上費用等の支援 自転車利用のインセンティブ(スタジアムグルメ券の配付等)
	臨時駐車場の追加設置	メイン駐車場の臨時退出路設置	シャトルバス拡充 パーク&ライド実施	
	(同上)	(同上)	(上記取組み拡充)	

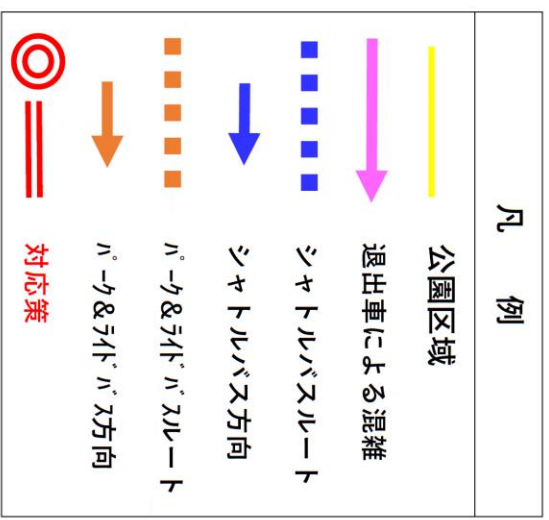
県民運動公園及び周辺のアクセス改善対策について

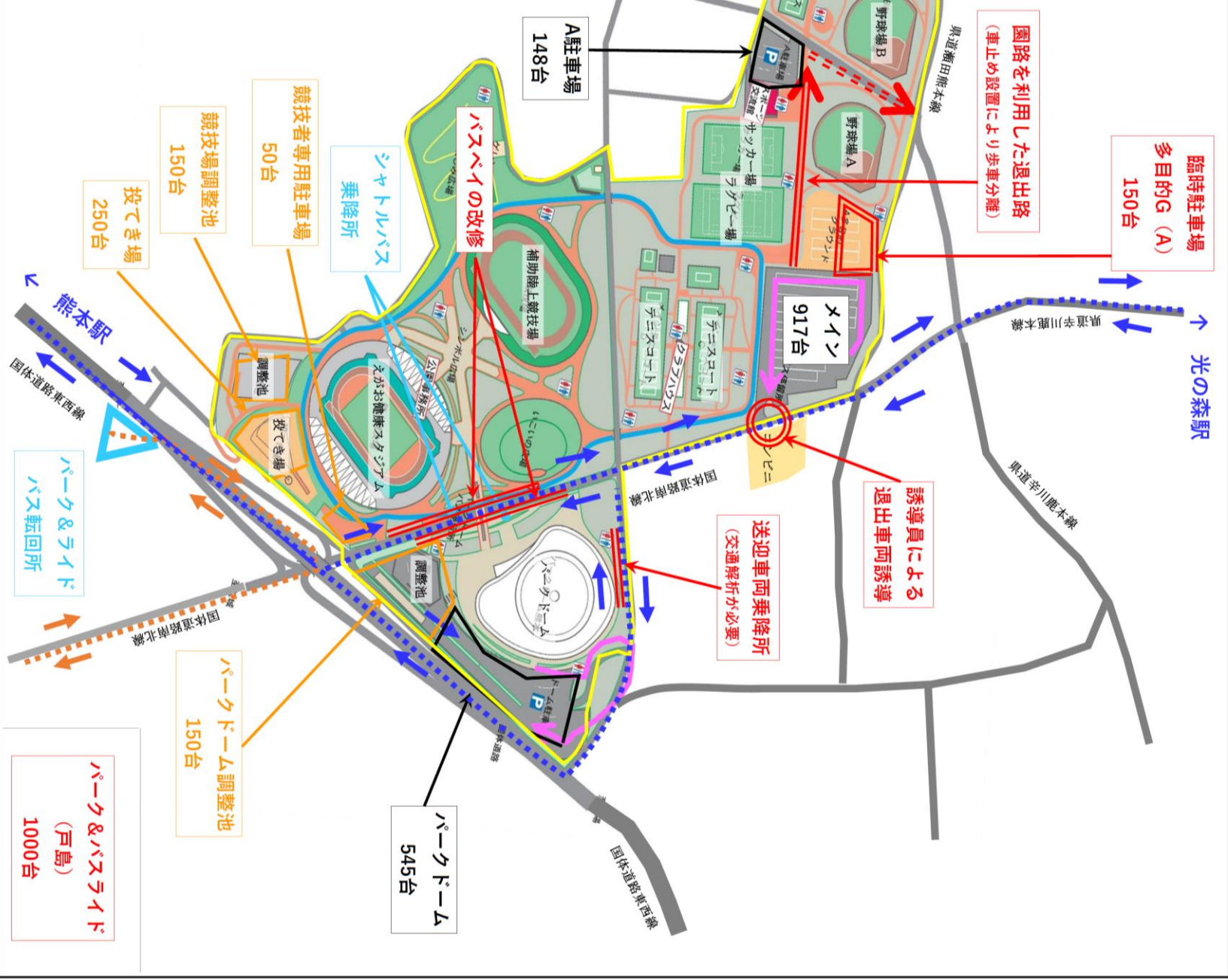
アクセス対策詳細図



駐車場台数集計

種別	駐車場名	駐車場台数	
常設	メイン駐車場	917台	2,000台
	パークドーム	545台	
	A駐車場	148台	
	B駐車場	338台	
	C駐車場	52台	
臨時 (現在)	パークドーム調整池	150台	3,150台
	投てき場	250台	
	競技場専用駐車場	50台	
臨時 (追加)	多目的グラウンドA	150台	550台
	多目的グラウンドB	150台	
	多目的グラウンドC	250台	
パーク&バスライド(戸島)		1,000台	





臨時駐車場
多目的G (A)
150台

園路を利用した退出路
(車止め設置により歩車分離)

誘導員による
退出車両誘導

送迎車両乗降所
(交通解析が必要)

パークボーム
545台

パークボーム調整池
150台

パーク&バスライド
(戸島)
1000台

バスベイの改修

シャトルバス
乗降所

競技者専用駐車場
50台

競技場調整池
150台

投てき場
250台

A駐車場
148台

メイン
917台

光の森駅

熊本駅

パーク&バスライド
バス転回所

国道道路東西線

国道道路南北線

国道道路東西線

国道道路南北線

県道幸三郎本線

県道幸川本線

県道瀬田本線

野球場B

野球場A

サッカースタジアム

ラグビー場

テニスコート

テニスコート

クラハウス

補助陸上競技場

えがお健康スタジアム

公園事務所

シャトルバス乗降所

調整池

投てき場

調整池

調整池